

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年11月25日(2021.11.25)

【公開番号】特開2021-164832(P2021-164832A)

【公開日】令和3年10月14日(2021.10.14)

【年通号数】公開・登録公報2021-050

【出願番号】特願2021-118121(P2021-118121)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 1 6 A

【手続補正書】

【提出日】令和3年9月17日(2021.9.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の入口を経由した遊技球が流下する遊技領域を備え、該遊技領域における流下開始位置を遊技者が変更操作可能に構成され、前記遊技領域には、遊技者による所定の第1操作状態によって遊技球が流下する左側流下領域と、前記第1操作状態とは異なる第2操作状態によって遊技球が流下する右側流下領域とが設けられた遊技機において、

第1所定条件または第2所定条件が成立した場合に所定の抽選を行う抽選手段と、

前記第1所定条件または第2所定条件が成立した場合に変動表示を行い、該変動表示の後に前記所定の抽選の結果に対応した結果情報を表示可能な表示装置と、

該表示装置による前記変動表示の実行中に他の所定条件が成立した場合に、当該他の所定条件の成立に対する変動表示の実行を所定の最大回数まで保留可能な保留手段と、

遊技球が進入した場合に前記第1所定条件が成立する第1始動部と、

遊技球の進入し易さが異なる複数の状態をとり、遊技球が進入した場合に前記第2所定条件が成立する第2始動部と、

遊技球の進入し易さが異なる複数の状態をとり、遊技球が進入した場合に所定の遊技価値を遊技者に付与する可変入賞部と、

前記第2始動部における遊技球の進入し易さと、前記可変入賞部における遊技球の進入し易さとを少なくとも制御して複数種類の遊技状態を発生させる遊技状態制御手段と、

所定の指示条件の成立に基づいて前記第1操作状態に対応する第1の指示情報または前記第2操作状態に対応する第2の指示情報を表示することができる操作指示情報表示手段とを備え、

前記遊技状態として、

前記第1始動部によって前記第1所定条件を成立させて遊技を行う通常遊技状態と、

該通常遊技状態において前記所定の抽選に当選した場合に発生して前記可変入賞部が遊技球の進入し易い状態をとる期間を含む入賞容易遊技状態と、

該入賞容易遊技状態の後に移行可能な有利遊技状態として、短期有利遊技状態と、該短期有利遊技状態より変動表示の実行可能回数が多く設定された長期有利遊技状態とが設けられ、

前記遊技状態制御手段は、

前記通常遊技状態中に前記第2始動部への遊技球の進入し易さを制御する進入通常制御と、前記有利遊技状態中に前記通常遊技状態より前記第2始動部へ遊技球が進入し易い進入容易状態を発生可能な進入容易制御とを行うものであって、

前記有利遊技状態においては上限に達する回数の変動表示が実行されることを条件に、前記第2始動部への遊技球の進入し易さの制御が前記進入容易制御から前記進入通常制御へと移行し、

前記短期有利遊技状態と前記長期有利遊技状態とのいずれにおいても、前記第2始動部への遊技球の進入し易さの制御が前記進入容易制御から前記進入通常制御へ移行した場合に、当該進入通常制御へ移行したタイミングにおいて、前記進入容易制御によって前記第2始動部が遊技球の進入し易い進入許容姿勢をとっている場合は、当該進入許容姿勢をとることが可能な最大進入許容時間を経過する前に、前記第2始動部へ遊技球が進入できない進入禁止姿勢へと前記第2始動部の状態が移行するように制御が行われ、

前記短期有利遊技状態において前記進入容易制御から前記進入通常制御へと移行した後であって、前記最大進入許容時間を経過する前に前記進入禁止姿勢へ前記第2始動部の状態が移行した後の所定期間中は、前記操作指示情報表示手段による前記第1の指示情報と前記第2の指示情報の表示を実行しない制御が行われることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

所定の入口を経由した遊技球が流下する遊技領域を備え、該遊技領域における流下開始位置を遊技者が変更操作可能に構成され、前記遊技領域には、遊技者による所定の第1操作状態によって遊技球が流下する左側流下領域と、前記第1操作状態とは異なる第2操作状態によって遊技球が流下する右側流下領域とが設けられた遊技機において、

第1所定条件または第2所定条件が成立した場合に所定の抽選を行う抽選手段と、

前記第1所定条件または第2所定条件が成立した場合に変動表示を行い、該変動表示の後に前記所定の抽選の結果に対応した結果情報を表示可能な表示装置と、

該表示装置による前記変動表示の実行中に他の所定条件が成立した場合に、当該他の所定条件の成立に対する変動表示の実行を所定の最大回数まで保留可能な保留手段と、

遊技球が進入した場合に前記第1所定条件が成立する第1始動部と、

遊技球の進入し易さが異なる複数の状態をとり、遊技球が進入した場合に前記第2所定条件が成立する第2始動部と、

遊技球の進入し易さが異なる複数の状態をとり、遊技球が進入した場合に所定の遊技価値を遊技者に付与する可変入賞部と、

前記第2始動部における遊技球の進入し易さと、前記可変入賞部における遊技球の進入し易さとを少なくとも制御して複数種類の遊技状態を発生させる遊技状態制御手段と、

所定の指示条件の成立に基づいて前記第1操作状態に対応する第1の指示情報または前記第2操作状態に対応する第2の指示情報を音響装置により出力することができる操作指示音出力手段とを備え、

前記遊技状態として、

前記第1始動部によって前記第1所定条件を成立させて遊技を行う通常遊技状態と、該通常遊技状態において前記所定の抽選に当選した場合に発生して前記可変入賞部が遊技球の進入し易い状態をとる期間を含む入賞容易遊技状態と、

該入賞容易遊技状態の後に移行可能な有利遊技状態として、短期有利遊技状態と、該短期有利遊技状態より変動表示の実行可能回数が多く設定された長期有利遊技状態とが設けられ、

前記遊技状態制御手段は、

前記通常遊技状態中に前記第2始動部への遊技球の進入し易さを制御する進入通常制御と、前記有利遊技状態中に前記通常遊技状態より前記第2始動部へ遊技球が進入し易い進入容易状態を発生可能な進入容易制御とを行うものであって、

前記有利遊技状態においては上限に達する回数の変動表示が実行されることを条件に、前記第2始動部への遊技球の進入し易さの制御が前記進入容易制御から前記進入通常制御へと移行し、

前記短期有利遊技状態と前記長期有利遊技状態とのいずれにおいても、前記第2始動部への遊技球の進入し易さの制御が前記進入容易制御から前記進入通常制御へ移行した場合に、当該進入通常制御へ移行したタイミングにおいて、前記進入容易制御によって前記第2始動部が遊技球の进入し易い进入許容姿勢をとっている場合は、当該进入許容姿勢をとることが可能な最大进入許容時間を経過する前に、前記第2始動部へ遊技球が进入できない进入禁止姿勢へと前記第2始動部の状態が移行するように制御が行われ、

前記短期有利遊技状態において前記进入容易制御から前記进入通常制御へと移行した後であって、前記最大进入許容時間を経過する前に前記进入禁止姿勢へ前記第2始動部の状態が移行した後の所定期間中は、前記操作指示音出力手段による前記第1の指示情報と前記第2の指示情報の出力を実行しない制御が行われることを特徴とする遊技機。

【請求項3】

所定の入口を経由した遊技球が流下する遊技領域を備え、該遊技領域における流下開始位置を遊技者が変更操作可能に構成され、前記遊技領域には、遊技者による所定の第1操作状態によって遊技球が流下する左側流下領域と、前記第1操作状態とは異なる第2操作状態によって遊技球が流下する右側流下領域とが設けられた遊技機において、

第1所定条件または第2所定条件が成立した場合に所定の抽選を行う抽選手段と、

前記第1所定条件または第2所定条件が成立した場合に変動表示を行い、該変動表示の後に前記所定の抽選の結果に対応した結果情報を表示可能な表示装置と、

該表示装置による前記変動表示の実行中に他の所定条件が成立した場合に、当該他の所定条件の成立に対する変動表示の実行を所定の最大回数まで保留可能な保留手段と、

遊技球が进入した場合に前記第1所定条件が成立する第1始動部と、

遊技球の进入し易さが異なる複数の状態をとり、遊技球が进入した場合に前記第2所定条件が成立する第2始動部と、

遊技球の进入し易さが異なる複数の状態をとり、遊技球が进入した場合に所定の遊技価値を遊技者に付与する可変入賞部と、

前記第2始動部における遊技球の进入し易さと、前記可変入賞部における遊技球の进入し易さとを少なくとも制御して複数種類の遊技状態を発生させる遊技状態制御手段と、

所定の指示条件の成立に基づいて前記第1操作状態に対応する第1の指示情報または前記第2操作状態に対応する第2の指示情報を、所定の発光体の態様を変化させて、出力することが可能な操作発光出力手段とを備え、

前記遊技状態として、

前記第1始動部によって前記第1所定条件を成立させて遊技を行う通常遊技状態と、該通常遊技状態において前記所定の抽選に当選した場合に発生して前記可変入賞部が遊技球の进入し易い状態をとる期間を含む入賞容易遊技状態と、

該入賞容易遊技状態の後に移行可能な有利遊技状態として、短期有利遊技状態と、該短期有利遊技状態より変動表示の実行可能回数が多く設定された長期有利遊技状態とが設けられ、

前記遊技状態制御手段は、

前記通常遊技状態中に前記第2始動部への遊技球の进入し易さを制御する进入通常制御と、前記有利遊技状態中に前記通常遊技状態より前記第2始動部へ遊技球が进入し易い进入容易状態を発生可能な进入容易制御とを行うものであって、

前記有利遊技状態においては上限に達する回数の変動表示が実行されることを条件に、前記第2始動部への遊技球の进入し易さの制御が前記进入容易制御から前記进入通常制御へと移行し、

前記短期有利遊技状態と前記长期有利遊技状態とのいずれにおいても、前記第2始動部への遊技球の进入し易さの制御が前記进入容易制御から前記进入通常制御へ移行した場合に、当該进入通常制御へ移行したタイミングにおいて、前記进入容易制御によって前記第2始動部が遊技球の进入し易い进入許容姿勢をとっている場合は、当該进入許容姿勢をとることが可能な最大进入許容時間を経過する前に、前記第2始動部へ遊技球が进入できない进入禁止姿勢へと前記第2始動部の状態が移行するように制御が行われ、

前記短期有利遊技状態において前記進入容易制御から前記進入通常制御へと移行した後であって、前記最大進入許容時間を経過する前に前記進入禁止姿勢へ前記第2始動部の状態が移行した後の所定期間中は、前記操作発光出力手段による前記第1の指示情報と前記第2の指示情報の出力を実行しない制御が行われることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項1に記載の遊技機は、上記の課題を解決するために、

所定の入口を経由した遊技球が流下する遊技領域を備え、該遊技領域における流下開始位置を遊技者が変更操作可能に構成され、前記遊技領域には、遊技者による所定の第1操作状態によって遊技球が流下する左側流下領域と、前記第1操作状態とは異なる第2操作状態によって遊技球が流下する右側流下領域とが設けられた遊技機において、

第1所定条件または第2所定条件が成立した場合に所定の抽選を行う抽選手段と、

前記第1所定条件または第2所定条件が成立した場合に変動表示を行い、該変動表示の後に前記所定の抽選の結果に対応した結果情報を表示可能な表示装置と、

該表示装置による前記変動表示の実行中に他の所定条件が成立した場合に、当該他の所定条件の成立に対する変動表示の実行を所定の最大回数まで保留可能な保留手段と、

遊技球が進入した場合に前記第1所定条件が成立する第1始動部と、

遊技球の進入し易さが異なる複数の状態をとり、遊技球が進入した場合に前記第2所定条件が成立する第2始動部と、

遊技球の進入し易さが異なる複数の状態をとり、遊技球が進入した場合に所定の遊技価値を遊技者に付与する可変入賞部と、

前記第2始動部における遊技球の進入し易さと、前記可変入賞部における遊技球の進入し易さとを少なくとも制御して複数種類の遊技状態を発生させる遊技状態制御手段と、

所定の指示条件の成立に基づいて前記第1操作状態に対応する第1の指示情報または前記第2操作状態に対応する第2の指示情報を表示することが可能な操作指示情報表示手段とを備え、

前記遊技状態として、

前記第1始動部によって前記第1所定条件を成立させて遊技を行う通常遊技状態と、該通常遊技状態において前記所定の抽選に当選した場合に発生して前記可変入賞部が遊技球の進入し易い状態をとる期間を含む入賞容易遊技状態と、

該入賞容易遊技状態の後に移行可能な有利遊技状態として、短期有利遊技状態と、該短期有利遊技状態より変動表示の実行可能回数が多く設定された長期有利遊技状態とが設けられ、

前記遊技状態制御手段は、

前記通常遊技状態中に前記第2始動部への遊技球の進入し易さを制御する進入通常制御と、前記有利遊技状態中に前記通常遊技状態より前記第2始動部へ遊技球が進入し易い進入容易状態を発生可能な進入容易制御とを行うものであって、

前記有利遊技状態においては上限に達する回数の変動表示が実行されることを条件に、前記第2始動部への遊技球の進入し易さの制御が前記進入容易制御から前記進入通常制御へと移行し、

前記短期有利遊技状態と前記長期有利遊技状態とのいずれにおいても、前記第2始動部への遊技球の進入し易さの制御が前記進入容易制御から前記進入通常制御へ移行した場合に、当該進入通常制御へ移行したタイミングにおいて、前記進入容易制御によって前記第2始動部が遊技球の進入し易い進入許容姿勢をとっている場合は、当該進入許容姿勢をとることが可能な最大進入許容時間を経過する前に、前記第2始動部へ遊技球が進入できない進入禁止姿勢へと前記第2始動部の状態が移行するように制御が行われ、

前記短期有利遊技状態において前記進入容易制御から前記進入通常制御へと移行した後であって、前記最大進入許容時間を経過する前に前記進入禁止姿勢へ前記第2始動部の状態が移行した後の所定期間中は、前記操作指示情報表示手段による前記第1の指示情報と前記第2の指示情報の表示を実行しない制御が行われることを特徴とする。

また、請求項2に記載の遊技機は、

所定の入口を経由した遊技球が流下する遊技領域を備え、該遊技領域における流下開始位置を遊技者が変更操作可能に構成され、前記遊技領域には、遊技者による所定の第1操作状態によって遊技球が流下する左側流下領域と、前記第1操作状態とは異なる第2操作状態によって遊技球が流下する右側流下領域とが設けられた遊技機において、

第1所定条件または第2所定条件が成立した場合に所定の抽選を行う抽選手段と、

前記第1所定条件または第2所定条件が成立した場合に変動表示を行い、該変動表示の後に前記所定の抽選の結果に対応した結果情報を表示可能な表示装置と、

該表示装置による前記変動表示の実行中に他の所定条件が成立した場合に、当該他の所定条件の成立に対する変動表示の実行を所定の最大回数まで保留可能な保留手段と、

遊技球が進入した場合に前記第1所定条件が成立する第1始動部と、

遊技球の進入し易さが異なる複数の状態をとり、遊技球が進入した場合に前記第2所定条件が成立する第2始動部と、

遊技球の進入し易さが異なる複数の状態をとり、遊技球が進入した場合に所定の遊技価値を遊技者に付与する可変入賞部と、

前記第2始動部における遊技球の进入し易さと、前記可変入賞部における遊技球の进入し易さとを少なくとも制御して複数種類の遊技状態を発生させる遊技状態制御手段と、

所定の指示条件の成立に基づいて前記第1操作状態に対応する第1の指示情報または前記第2操作状態に対応する第2の指示情報を音響装置により出力することが可能な操作指示音出力手段とを備え、

前記遊技状態として、

前記第1始動部によって前記第1所定条件を成立させて遊技を行う通常遊技状態と、該通常遊技状態において前記所定の抽選に当選した場合に発生して前記可変入賞部が遊技球の进入し易い状態をとる期間を含む入賞容易遊技状態と、

該入賞容易遊技状態の後に移行可能な有利遊技状態として、短期有利遊技状態と、該短期有利遊技状態より変動表示の実行可能回数が多く設定された長期有利遊技状態とが設けられ、

前記遊技状態制御手段は、

前記通常遊技状態中に前記第2始動部への遊技球の进入し易さを制御する进入通常制御と、前記有利遊技状態中に前記通常遊技状態より前記第2始動部へ遊技球が进入し易い进入容易状態を発生可能な进入容易制御とを行うものであって、

前記有利遊技状態においては上限に達する回数の変動表示が実行されることを条件に、前記第2始動部への遊技球の进入し易さの制御が前記进入容易制御から前記进入通常制御へと移行し、

前記短期有利遊技状態と前記長期有利遊技状態とのいずれにおいても、前記第2始動部への遊技球の进入し易さの制御が前記进入容易制御から前記进入通常制御へ移行した場合に、当該进入通常制御へ移行したタイミングにおいて、前記进入容易制御によって前記第2始動部が遊技球の进入し易い进入許容姿勢をとっている場合は、当該进入許容姿勢をとることが可能な最大进入許容時間を経過する前に、前記第2始動部へ遊技球が进入できない进入禁止姿勢へと前記第2始動部の状態が移行するように制御が行われ、

前記短期有利遊技状態において前記进入容易制御から前記进入通常制御へと移行した後であって、前記最大进入許容時間を経過する前に前記进入禁止姿勢へ前記第2始動部の状態が移行した後の所定期間中は、前記操作指示音出力手段による前記第1の指示情報と前記第2の指示情報の出力を実行しない制御が行われることを特徴とする。

また、請求項3に記載の遊技機は、

所定の入口を経由した遊技球が流下する遊技領域を備え、該遊技領域における流下開始

位置を遊技者が変更操作可能に構成され、前記遊技領域には、遊技者による所定の第1操作状態によって遊技球が流下する左側流下領域と、前記第1操作状態とは異なる第2操作状態によって遊技球が流下する右側流下領域とが設けられた遊技機において、

第1所定条件または第2所定条件が成立した場合に所定の抽選を行う抽選手段と、

前記第1所定条件または第2所定条件が成立した場合に変動表示を行い、該変動表示の後に前記所定の抽選の結果に対応した結果情報を表示可能な表示装置と、

該表示装置による前記変動表示の実行中に他の所定条件が成立した場合に、当該他の所定条件の成立に対する変動表示の実行を所定の最大回数まで保留可能な保留手段と、

遊技球が進入した場合に前記第1所定条件が成立する第1始動部と、

遊技球の進入し易さが異なる複数の状態をとり、遊技球が進入した場合に前記第2所定条件が成立する第2始動部と、

遊技球の進入し易さが異なる複数の状態をとり、遊技球が進入した場合に所定の遊技価値を遊技者に付与する可変入賞部と、

前記第2始動部における遊技球の進入し易さと、前記可変入賞部における遊技球の進入し易さとを少なくとも制御して複数種類の遊技状態を発生させる遊技状態制御手段と、

所定の指示条件の成立に基づいて前記第1操作状態に対応する第1の指示情報を前記第2操作状態に対応する第2の指示情報を、所定の発光体の態様を変化させて、出力することが可能な操作発光出力手段とを備え、

前記遊技状態として、

前記第1始動部によって前記第1所定条件を成立させて遊技を行う通常遊技状態と、該通常遊技状態において前記所定の抽選に当選した場合に発生して前記可変入賞部が遊技球の進入し易い状態をとる期間を含む入賞容易遊技状態と、

該入賞容易遊技状態の後に移行可能な有利遊技状態として、短期有利遊技状態と、該短期有利遊技状態より変動表示の実行可能回数が多く設定された長期有利遊技状態とが設けられ、

前記遊技状態制御手段は、

前記通常遊技状態中に前記第2始動部への遊技球の進入し易さを制御する進入通常制御と、前記有利遊技状態中に前記通常遊技状態より前記第2始動部へ遊技球が進入し易い進入容易状態を発生可能な進入容易制御とを行うものであって、

前記有利遊技状態においては上限に達する回数の変動表示が実行されることを条件に、前記第2始動部への遊技球の進入し易さの制御が前記進入容易制御から前記進入通常制御へと移行し、

前記短期有利遊技状態と前記長期有利遊技状態とのいずれにおいても、前記第2始動部への遊技球の進入し易さの制御が前記進入容易制御から前記進入通常制御へ移行した場合に、当該進入通常制御へ移行したタイミングにおいて、前記進入容易制御によって前記第2始動部が遊技球の進入し易い進入許容姿勢をとっている場合は、当該進入許容姿勢をとることが可能な最大進入許容時間を経過する前に、前記第2始動部へ遊技球が進入できない進入禁止姿勢へと前記第2始動部の状態が移行するように制御が行われ、

前記短期有利遊技状態において前記進入容易制御から前記進入通常制御へと移行した後であって、前記最大進入許容時間を経過する前に前記進入禁止姿勢へ前記第2始動部の状態が移行した後の所定期間中は、前記操作発光出力手段による前記第1の指示情報と前記第2の指示情報の出力を実行しない制御が行われることを特徴とする。